



さん さん
燦 燦

佐世保市立清水中学校
 学校だより 3号
 令和5年 5月10日
 校長 椰尾 吉嗣

学校教育目標：「明るく、自ら求めて伸びる生徒の育成」

校訓：凛と在れ

生徒会スローガン：「果敢 挑戦 前進」

順延して晴天に恵まれました（体育大会：5月1日）

佐世保で最も早い開催（4月30日（日））の体育大会でしたが、前日の終日大雨の影響でグラウンドコンディションは回復せず、泣く泣く順延を決定しました。早朝からのご連絡になりましたが保護者の皆様にはご理解、ご協力いただき感謝申し上げます。翌日の5月1日は晴天に恵まれグラウンド整備のために1時間遅れてのスタートになりましたが、前日の水たまりが嘘のように回復した状態で実施することができました。

限られた時間、与えられたコンディションの中でいかにベスト尽くすか、最高のものに近づけるかを求めて、各学年体育の授業、学年練習ともに集中して取り組みました。特にブロック別の応援については、3年生のリーダーを中心に熱心に練習に励み、本番での応援合戦も甲乙つけがたい出来栄でした。体育大会スローガン『果敢 挑戦 前進』が少しでも表現できていればこんなに嬉しいことはありません。



日々の学校生活は言うまでもなく、このような学校行事は、“協力・感謝・達成感・喜び・悔しさ”など私たちに多くの学びを与えてくれます。今回の体育大会も学級、ブロックなど人と人の触れ合い、家族の応援、地域の方々の支えなどがあって開催することができました。この学びを、これからの私たちの日常に生かしていかない手はありません。一回り成長させてくれた体育大会に感謝しつつ、次に向かって『果敢 挑戦 前進』の清水中を示していくことが何よりの学習の成果です。皆さんの更なる成長を期待しています。

少し立ち止まって振り返りを！

新年度が始まって駆け足でこの一か月が過ぎていきました。それぞれに進級、入学、異動など環境が変わる中、体育大会という大きな行事もあり、慣れていくのにゆっくりと時間をかけることもできなかったのではないのでしょうか。大型連休も終わり日常の学校生活が戻ってきました。ここで、ちょっと立ち止まりこの一か月を振り返るとともに、自身のペースをつかむ、取り戻す時間をもってほしいと思います。

走りっぱなしだと、疲れてしまい長く遠くまで走ることができません。故障もするでしょう。時に休憩をはさみ、ペースを落としながら、また時に全力疾走をして、毎日の学校生活を過ごしていきましょう。

『力を出し切る』『ゆっくり休む』このメリハリこそが充実した毎日を送る秘訣です。

鮮明な画像等は、ホームページをご覧ください。